

医学系研究科 保健学専攻

学位プログラム： 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン 高度がん看護専門看護師
授与する学位： 修士（看護学）または修士（保健学）

教育目標

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻の教育目標のもと、がん医療に関わる熟練したケア技術とケアの知識を備え、がん患者及び家族の様々なニーズや課題に応えられる臨床判断力と卓越した実践力を持って、患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者の QOL（生活の質）の視点に立った水準の高いケアを提供できるがん看護専門看護師を育成します。また、患者や家族に対する直接ケアだけではなく、看護師への相談や教育、チーム医療を円滑に提供するための調整を行える人材を育成します。

さらに、がん看護専門看護師を目指すにあたり、がん医療に関する深い学識と教養をもち、高い倫理観と豊かな人間性を備え、国際的視点を持った人材の育成を目指しています。

「高度がん看護専門看護師コース」は、文部科学省の多様な新ニーズに対応する「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」をもとに開設されています。本コースは、日本看護系大学協議会の認定した高度実践看護師教育課程であり、がん医療専門人材(がんプロフェッショナル)であるがん看護専門看護師の資格取得を目的として、以下の教育目標の項目を挙げています。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・机上の学び以外に、チーム医療による高度ながん医療に対応する臨床実習を取り入れ、がん医療における熟練したケア技術とケアの知識を身につけた人材を育成します。
- ・がん患者及び家族の様々なニーズや課題に応えられる臨床判断力と卓越した実践力を持ち、患者の QOL（生活の質）の視点に立った水準の高いケアを提供できる人材を育成します。
- ・次世代のがんプロフェッショナル養成プランの連携大学と協働して、がん医療の現場で顕在化している課題に対応できる人材を育成します。

○高度な教養

- ・熟練したケア技術とケアの知識を基盤として、がん医療の現場でリーダーシップを発揮できる人材を育成します。
- ・看護師として培ってきた知識・経験をもとに、がん医療に関するケア技術とケアの知識をさらに発展させ、後進の看護師をはじめとした医療専門職に対して教育及び相談対応を行うことのできる能力を育成します。
- ・がん看護専門看護師にふさわしい高い倫理感性を身につけ、がん患者及び家族が抱える課題を解決できる人材を育成します。

○高度な国際性

- ・熟練したケア技術とキュアの知識を用いて、国際的な視点からがん看護の課題を評価できる人材を育成します。
- ・異なる言語・文化背景を考慮したがん看護のあり方について検討し、卓越したケアを提供できる力が修得できるようにします。

○高度なデザイン力

- ・がん医療における多様な課題に対応するために、がん医療を担う他職種と協働しながらがん患者及び家族の抱える課題の解決ができる能力を養います。
- ・がん看護における新規性・独自性のある研究課題に向き合い、時代のニーズに応じた研究遂行能力を身につけた人材を育成します。

○独自の教育目標

- ・がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、がん患者及び家族に対して QOL の視点に立ち、看護実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究の 6 つの役割が発揮できる人材を育成します。
- ・次世代のがんプロフェッショナル養成プランの人材育成として取り組むべき施策のうち、がん医療の現場で顕在化しているがん疼痛のケアに卓越した人材やがんサバイバーの支援ができる人材を育成します。

「高度がん看護専門看護師コース」では、がん医療に関わる熟練したケア技術とキュアの知識を備え、がん患者及び家族の QOL（生活の質）の視点に立った水準の高いケアを提供できるがん看護専門看護師を育成します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のディプロマ・ポリシーのもと、がん医療に関わる熟練したケア技術とキュアの知識を備え、がん患者及び家族の QOL（生活の質）の視点に立った水準の高いケアを提供できるがん看護専門看護師を育成するために、以下の学生に学位（修士（看護学）または修士（保健学））を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・がん医療の最新の科学的根拠をもとに、患者を取り巻く事象や課題を解決するための高い臨床判断力と実践力を修得している
- ・がん医療の現場で課題となっているがん疼痛やがんサバイバーへのケアに関する知識と支援ができる実践力を修得している
- ・がん医療に関わる熟練したケア技術とキュアの知識を備え、がん患者及び家族の QOL（生活の質）の視点に立った水準の高いケアを提供できる能力を有する

○高度な教養

- ・がん看護専門看護師にふさわしい高い倫理観と人間性を持ち、がん医療の発展や質の向上に積極的に貢献できる力を修得している

○高度な国際性

- ・日本で実践されているがん看護を国際的な視点から評価し、日本におけるがん看護実践の位置づけを説明できる能力を有する
- ・国際的なガイドライン及び国際専門誌の読解力を身につけ、自身の実践や研究の社会への貢献について説明できる能力を有する

○高度なデザイン力

- ・高い問題解決能力を身につけ、がん患者が抱える課題に対するケアを提案し、組織や同僚とともに看護実践を提供できる能力を有する
- ・看護学と医療分野の様々なニーズに対応するために、がん医療に関わる熟練したケア技術とキュアの知識をもとに、がん医療に関わる他職種と協働したチーム医療を提供できる
- ・がん医療の現場で課題となっている事柄を研究の視点と統合し、自主性、独創性をもとに研究テーマを設定できる

○独自の学習目標

- ・がん医療に関する高度な専門性と深い学識をもとに、がん看護専門看護師の 6 つの役割である看護実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究が発揮できる能力を有する

- ・がん疼痛を看護の視点から臨床推論、アセスメントし、個別的なケアを計画できる能力の修得とともに、がん疼痛緩和のために、多職種チームを調整できる能力を有する。
- ・がんサバイバーの抱える課題について関心をもち、支援の在り方について、当事者へのケアを通して学び、支援できる能力を修得する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のカリキュラム・ポリシーのもと、以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定めています。熟練したケア技術とキュアの知識を修得し、がん看護専門看護師に必要な高度な臨床判断能力・倫理的感性、高い研究の遂行能力を育む教育システムとなっています。

<教育課程編成の考え方>

「高度がん看護専門看護師コース」では、質の高いがん医療の提供に必要な熟練したケア技術とキュアの知識を修得するために必要な講義、実習を履修させ、指導教員からの研究指導のもとに修士論文の作成を目指します。

授業科目を履修する過程において、がん医療に関する高度な専門性と深い学識・教養を身につけ、がん医療で直面する課題を発見し解決する臨床判断力を身につけるとともに、がん看護専門看護師を目指す上で必要となる高い倫理性を身につけさせます。

また、研究を遂行する基礎学力を身につけ、研究の進捗状況報告の過程の中で理論と実践を結びつけるための研究テーマを自ら設定できる能力を修得させます。そのなかで、国際学会への参加や、科学論文を英語で読むことにより、高度な国際性を身につけさせます。

<学修内容及び学修方法>

「高度がん看護専門看護師コース」は、本課程に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、指導教員から論文指導を受け修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すれば修了し、学位を授与します。

所定の単位とは、①専門看護師共通科目 16 単位以上、②がん看護専門科目 28 単位以上の合計 44 単位以上です。がん看護専門科目の 28 単位には、講義以外にも、必修である臨地実習 10 単位、研究 2 単位が含まれます。なお、高度教養教育科目と高度国際性涵養教育科目の履修が必須となります。

<学修成果の評価方法>

学修の成果は、講義内でのプレゼンテーション及びレポートによって、シラバスに記載された学習目標への到達度をもとに評価します。また、実習や論文作成に関しても同様に、学習目標の到達度によって評価します。

講義や実習においては、高度な専門性や教養が身についているかのみならず、他職種との協働の姿勢、がん看護専門看護師となるための姿勢や態度についても評価します。

「高度がん看護専門看護師コース」では、質の高いがん医療を提供するために必要となる熟練したケア技術とキュアの知識を修得するために必要な講義、実習を履修、がん看護実践の課題解決に向けた研究に取り組み、修士論文を作成させます。講義や実習では、他職種や他者との協働、

がん看護の専門職となるための高度な教養や姿勢についても評価します。

医学系（保健学専攻）がんプロ 高度がん看護専門看護師コース 修士（看護学または保健学） カリキュラムマップ

学習目標	4つの学習目標				1年				2年			
	最先端かつ深い専門性	高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
	と高	養	性	イ								
最先端かつ高度な専門性と深い学識 ○がん医療の最新の科学的根拠をもとに、患者を取り巻く事象や課題を解決するための高い臨床判断力と実践力を身につけている ○がん医療の現場で課題となっているがん疼痛やがんサバイバーへのケアに関する知識と支援ができる実践力を身につけている ○がん医療に関わる熟練したケア技術とキュアの知識を備え、がん患者および家族のQOL（生活の質）の視点に立った水準の高いケアを提供できる	○				高度がん看護専門看護師コース共通科目							
独自の学習目標 ○がん医療に関する高度な専門性と深い学識をもとに、がん看護専門看護師の6つの役割である看護実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究が発揮できる能力を有する ○がん疼痛を看護の視点から臨床推論、アセスメントし、個別的なケアを計画できる能力の修得とともに、がん疼痛緩和のために、多職種チームを調整できる能力を有する ○がんサバイバーの抱える課題について関心をもち、支援の在り方について、当事者へのケアを通して学び、支援できる能力を身につけている	○											
高度な教養 ○がん看護専門看護師にふさわしい高い倫理観と人間性を持ち、がん医療の発展や質の向上に積極的に貢献できる力を修得している		○										
高度な国際性 ○日本で実践されているがん看護を国際的な視点から評価し、日本におけるがん看護実践の位置づけを説明できる能力を有する ○国際的なガイドラインおよび国際専門誌の読解力を身につけ、自身の実践や研究の社会への貢献について説明できる能力を有する			○		高度がん看護専門看護師コース専門科目 がんの病態生理学各論Ⅰ、がん看護方法論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ、がん看護実践特論Ⅰ,Ⅱなど がん看護実践実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ がん治療看護実践実習Ⅰ,Ⅱ							
高度なデザイン力 ○高い問題解決能力を身につけ、がん患者が抱える課題に対するケアを提案し、組織や同僚とともに看護実践を提供できる能力を有する ○看護学と医療分野の様々なニーズに対応するために、がん医療に関わる熟練したケア技術とキュアの知識をもとに、がん医療に関わる他職種と協働したチーム医療を提供できる能力を身につけている				○								
○がん医療の現場で課題となっている事柄を研究の視点と統合し、自主性、独創性をもとに研究テーマを設定できる				○								
					がん看護実践研究							
					研究発表会							